

2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月14日

上場会社名 アビックス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7836 URL <http://www.avix.co.jp>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 岩切 敏晃
 問合せ先責任者（役職名） 管理部長（氏名） 松田 昂平 (TEL) 045-670-7720
 半期報告書提出予定日 2025年11月14日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	2,307	30.5	175	32.6	87	72.8	80	72.3	44	79.0
2025年3月期中間期	1,768	10.5	132	42.9	50	357.8	46	510.1	24	—

（注）包括利益 2026年3月期中間期 54百万円（453.4%） 2025年3月期中間期 9百万円（61.0%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	1.27	—
2025年3月期中間期	0.71	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	2,897	1,791	61.5
2025年3月期	3,183	1,737	54.5

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 1,781百万円 2025年3月期 1,734百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年3月期	—	0.00			
2026年3月期（予想）			—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	4,800	10.4	457	4.5	285	6.0	281	14.7	226	24.7
										6.45

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

EBITDA＝営業利益＋減価償却費＋のれん償却費

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数 (中間期)

2026年3月期中間期	35,129,566株	2025年3月期	35,129,566株
2026年3月期中間期	一株	2025年3月期	一株
2026年3月期中間期	35,129,566株	2025年3月期中間期	35,129,566株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	1
(1) 当中間期の経営成績の概況	1
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 中間連結貸借対照表	3
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
中間連結損益計算書	5
中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(表示方法の変更の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 経営成績等の概況

（1）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における日本経済は、インバウンド需要の回復などを背景に緩やかな改善基調が続いた一方で、米国の金融政策動向や為替変動、中東・ウクライナ情勢をはじめとする地政学リスク、さらには原材料価格の高騰を伴う物価上昇など、依然として先行き不透明な状況が続きました。

このような環境下において、当社グループは「デジタルサイネージ業界No. 1」の実現を目指し、引き続き積極的な事業拡大に取り組みました。新製品の展開や品質管理体制の徹底に加え、デジタルマーケティングを活用した案件創出を推進した結果、売上・利益ともに前年同期を上回る水準で推移いたしました。

その結果、当中間連結会計期間における業績は、売上高2,307,789千円（前年同期比30.5%増）、営業利益87,240千円（前年同期比72.8%増）、経常利益80,565千円（前年同期比72.3%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は44,508千円（前年同期比79.0%増）となりました。

また、当中間連結会計期間におけるセグメントごとの業績は以下のとおりです。

①デジタルサイネージ関連事業

デジタルサイネージ関連事業は3部門あり、機器リース部門では主にデジタルサイネージのリース、運営部門ではデジタルサイネージ向けを中心とした販促支援サービス（コンテンツ配信等のソフト面でのサービスやメンテナンスの他、新たな販促支援サービス）の提供、情報機器部門ではデジタルサイネージの製造・販売を行っております。

機器リース部門、運営部門につきましては、リースや月額利用料の契約といったサブスクリプションサービスであることから、契約の増加が安定的な収益につながっております。

特に、CMS（コンテンツマネジメントシステム）「DiSi cloud」は堅調に推移しており、契約数、売上ともに増加いたしました。また、「AIサイネージソリューション」につきましても、契約数が着実に増加しており、今後も「DiSi cloud」を軸とし、AIサイネージソリューション等を連携したデジタルプラットフォーム「MiRAi PORT」を積極的に展開してまいります。

情報機器部門につきましては、多数の商業施設への導入実績に加え、多様な業界から案件を受注するなど、順調に推移しました。今後もさらに展開してまいります。

以上の結果、デジタルサイネージ関連事業は売上高2,175,274千円（前年同期比28.1%増）、セグメント利益75,754千円（前年同期比51.2%増）となりました。

②Value creating事業

デジタルプロモーション株式会社が運営するValue creating事業につきましては、自社運営のハイパーローカルメディア「タウンビジョン」や地元密着の記者活動、各種SNSの活用、ターゲットユーザーに響く記事・動画等のコンテンツ制作を通じて、地域企業のPR支援、ファン形成、集客・ブランディング、さらには地方自治体の魅力発信など、地域密着型のマーケティングを展開しております。

当期は、既存顧客との取引継続に加え、新規案件の受注も順調に推移したことから、サブスクリプションモデルを中心に売上を拡大いたしました。

以上の結果、Value creating事業は、売上高132,514千円（前年同期比88.9%増）、セグメント利益11,486千円（前年同期比2,868.5%増）となりました。

（2）当中間期の財政状態の概況

（資産）

当中間連結会計期間末の資産は、2,897,058千円（前連結会計年度比286,033千円の減少）となりました。
その主な要因は、電子記録債権が減少したことによるものです。

（負債）

当中間連結会計期間末の負債は、1,105,675千円（前連結会計年度比340,117千円の減少）となりました。
その主な要因は、買掛金及び前受金が減少したことによるものです。

（純資産）

当中間連結会計期間末の純資産は、1,791,383千円（前連結会計年度比54,084千円の増加）となりました。
その主な要因は、利益剰余金が増加したことによるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の業績予想につきましては、2025年5月14日に発表いたしました業績予想に変更はございません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	661,416	863,544
受取手形	18,810	5,390
電子記録債権	299,335	62,189
売掛金	868,068	778,041
商品及び製品	323,995	235,803
仕掛品	27,865	32,688
原材料	3,696	3,851
前渡金	343,530	312,530
その他	19,793	35,882
貸倒引当金	△20	△15
流動資産合計	2,566,492	2,329,907
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備（純額）	22,164	21,764
車両運搬具（純額）	237	94
工具、器具及び備品（純額）	123,831	132,889
レンタル資産（純額）	13,069	11,828
リース資産（純額）	2,859	932
有形固定資産合計	162,162	167,509
無形固定資産		
のれん	384,007	330,424
その他	18,652	16,346
無形固定資産合計	402,660	346,771
投資その他の資産		
投資有価証券	56,098	49,931
繰延税金資産	—	1,732
その他	20,677	25,206
貸倒引当金	△25,000	△24,000
投資その他の資産合計	51,776	52,870
固定資産合計	616,598	567,151
資産合計	3,183,091	2,897,058

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	495,293	322,777
1年内返済予定の長期借入金	143,825	130,400
リース債務	3,232	1,003
未払法人税等	39,543	20,361
賞与引当金	38,876	37,015
前受金	184,784	89,474
その他	97,581	121,179
流動負債合計	1,003,136	722,212
固定負債		
長期借入金	231,200	166,000
繰延税金負債	43,650	51,208
預り保証金	150,000	150,000
その他	17,806	16,254
固定負債合計	442,656	383,462
負債合計	1,445,793	1,105,675
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,207,564	1,207,564
資本剰余金	615,454	615,454
利益剰余金	△93,860	△49,351
株主資本合計	1,729,158	1,773,667
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,644	7,829
繰延ヘッジ損益	△391	△453
その他の包括利益累計額合計	5,252	7,376
非支配株主持分	2,887	10,339
純資産合計	1,737,298	1,791,383
負債純資産合計	3,183,091	2,897,058

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	1,768,056	2,307,789
売上原価	1,242,474	1,686,727
売上総利益	525,582	621,061
販売費及び一般管理費	475,099	533,820
営業利益	50,482	87,240
営業外収益		
受取利息	682	1,019
受取配当金	150	183
保険解約返戻金	4,720	—
貸倒引当金戻入額	—	1,000
その他	1,118	6
営業外収益合計	6,671	2,208
営業外費用		
支払利息	2,781	2,020
持分法による投資損失	6,213	5,747
為替差損	685	12
その他	707	1,101
営業外費用合計	10,388	8,882
経常利益	46,765	80,565
特別損失		
固定資産除却損	0	—
役員退職慰労金	5,000	10,000
特別損失合計	5,000	10,000
税金等調整前中間純利益	41,765	70,565
法人税、住民税及び事業税	8,125	13,245
法人税等調整額	6,496	5,297
法人税等合計	14,622	18,542
中間純利益	27,143	52,022
非支配株主に帰属する中間純利益	2,282	7,514
親会社株主に帰属する中間純利益	24,861	44,508

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	27,143	52,022
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,012	2,185
繰延ヘッジ損益	△18,383	△123
その他の包括利益合計	△17,370	2,061
中間包括利益	9,772	54,084
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	9,772	46,632
非支配株主に係る中間包括利益	—	7,452

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	41,765	70,565
減価償却費	28,178	34,564
のれん償却額	53,582	53,582
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4	△5
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,789	△1,860
受取利息及び受取配当金	△833	△1,202
支払利息	2,781	2,020
持分法による投資損益(△は益)	6,213	5,747
保険解約返戻金	△4,720	—
売上債権の増減額(△は増加)	310,815	340,592
棚卸資産の増減額(△は増加)	△45,568	83,213
仕入債務の増減額(△は減少)	23,234	△172,516
前渡金の増減額(△は増加)	18,740	31,000
前受金の増減額(△は減少)	△28,809	△95,309
その他	△32,022	△5,648
小計	375,143	344,745
利息及び配当金の受取額	233	1,202
利息の支払額	△2,790	△1,952
法人税等の支払額	△10,561	△30,260
法人税等の還付額	1,112	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	363,136	313,735
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△39,552	△28,998
無形固定資産の取得による支出	△5,895	△2,000
投資有価証券の取得による支出	△730	△754
投資有価証券の償還による収入	—	1,000
差入保証金の差入による支出	△3,121	—
保険積立金の払戻による収入	21,501	—
その他	△30	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△27,827	△30,753
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△113,559	△78,625
リース債務の返済による支出	△2,575	△2,228
財務活動によるキャッシュ・フロー	△116,134	△80,853
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	219,174	202,127
現金及び現金同等物の期首残高	702,466	661,416
現金及び現金同等物の中間期末残高	921,640	863,544

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更の注記)

(連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前連結会計年度において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めて表示しておりました「前受金の増減額」は、金額的重要性が増したため、当連結会計年度より独立掲記しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組み替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に表示していた△60,832千円は、「前受金の増減額」△28,809千円、「その他」△32,022千円として組み替えております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント		調整額 (注1)	合計
	デジタル サイネージ関連	Value creating		
売上高				
外部顧客への売上高	1,697,889	70,167	—	1,768,056
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,461	2,630	△4,091	—
計	1,699,350	72,797	△4,091	1,768,056
セグメント利益	50,095	386	—	50,482

(注) 1 セグメント売上高の調整額△4,091千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益の調整後の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3 セグメント利益は、適当な配賦基準によって、各報告セグメントに配賦された全社費用を含んでおります。

II 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント		調整額 (注1)	合計
	デジタル サイネージ関連	Value creating		
売上高				
外部顧客への売上高	2,175,274	132,514	—	2,307,789
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,307	2,760	△4,067	—
計	2,176,581	135,274	△4,067	2,307,789
セグメント利益	75,754	11,486	—	87,240

(注) 1 セグメント売上高の調整額△4,067千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益の調整後の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3 セグメント利益は、適当な配賦基準によって、各報告セグメントに配賦された全社費用を含んでおります。